

おれんじの屋根

施設長より

「運動会シーズン」孫の運動会を見ながら



運動会シーズンを迎え、各所で運動会があつています。先日は、幼稚園に通う孫娘の運動会を見に益城町体育館に行きました。熊本地震で被害を受けて建て直された体育館は、避難場所としても機能するよう、空調も万全で快適でした。

運動会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、中止したり児童生徒だけ観覧なしで実施したりという年もありました。そんな経緯の中で、校内でも運動会は何のためにするのかという議論がなされたのでしょうか、種目や競技を絞り、午前中で終わるようにしたり、観覧者を同居家族のみに限定したりと、コロナ禍以前に比べると、かなりコンパクト化されシンプルになっているようで、地域の一大行事から、教育的意義を押さえた学校行事に戻った感があります。結婚式の披露宴や葬儀などでも、同じようなコンパクト化はありますが、“何のために”という原点を押さえてのことであり、それはそれでいいだろうと思います。コロナ禍以後、最後の学校からの運動会の案内が来なくなりましたが、社会や状況の変化に柔軟に反応することは必要でしょう。

※このおれんじの屋根も、今月からの郵便料金の大幅な値上げにより、可能などころには、メール配信に変更させていただきました。大変申しわけございませんが、これも時代や状況の変化とご理解いただければと思う次第です。

さて、最後に勤めた特別支援学校の運動会。メインの種目の1つに、小学部の児童と高等部の生徒が段ボールの積み木を一緒に運んで絵を完成させるというのがありました。初めてご覧になれば、ちっちゃな小学部の子と高等部のお兄さん・お姉さんが協働で一つの絵を作り上げる、なんとすばらしいことかと感動的に見えるかも知れません。が、私は、3週間、ほぼ毎日この種目の練習をすることにどんな意義があるのだろう、それよりも小学部の子もは子どもどうし、高等部の生徒は生徒どうしで一生懸命に力を発揮できる種目の方がいいのではないかという印象を持ちました。それに、やっぱり徒競走はあった方がよい。例えば、小学部では、速く走れる子もいれば、走れない子、走らない子、ゴールまでたどり着かない子、応援する家族の方に走って行く子とさまざまでしょう。走れる子も、そうでない子も、たくさんの声援を受けて走る、歩く。今年はゴールにたどり着かなくても、来年はゴールまで走れるようになっていくかも知れない、そういう成長の足跡がうかがえるのも運動会ではないかと思ひます。

こういった思いがあつたので、運動会終了後に、次の年に向けて、運動会は何のためにするのかという議論を進め、運動会を子どもたちが精いっぱい姿を發揮できる機会や場にしたいとの思いを伝えたとありました。

いろいろな思いや思い出もたくさんある運動会。今は観覧するだけですが、子どもたちの一生懸命がんばる姿はやはりいいものだなと思ったところです。



書き遊ぶ「格付け番組」



ゆうゆう会会長の瀬上です。

芸能人格付けチェックのテレビ番組を観ました。芸能人が味覚・聴覚・センスを問われる人気番組です。比べるのは『高級魚ハモと毒ヘビハブ』『総額20億円の楽器のプロと学校使用の楽器の大学生』『本職のロックバンドと小学生バンド』『お菓子で作った和傘と紙の本物』『バレエのプリンシパルと研修生』『ナマズとウナギ』・・・の違いです。当てて当たり前と思ったら大間違い。これがなかなか当たらず大笑いでした。

しかし、よく考えるとハモとハブ・ナマズとウナギの味もよくわからないのなら、どんな食材でもおいしく味付ければ皆喜ぶということです。わざわざストラディバリウスの数億円バイオリンでなくても、一般楽器でいい

し、プロが演奏しなくてもそう思い込ませれば人は感動するということです。要するに私たちは高級食材もスーパーの食材も歌手の肉声もロパクもわからないということです。

美味しいと思えば美味しいのであり、素晴らしいと思えばそれで十分。中身にこだわらず他人を気にせず、自分の感性で判断して暮らしていけばいいみたい。どうせ芸能人でさえ何もわからないのだから。





'24 お月見会



中秋の名月(9月17日)より、少し遅くなりましたが、9月27日にお月見会をしました。日中は暑かったのですが、会が始まる午後5時頃は日も傾き始めちょうどいい気候になりました。手作りのお月見バーガーをほおぼり、カラオケ、ゲーム、抽選会、最後はミニ花火大会と、利用者の皆さんも楽しい時間を過ごされていました。



AED講習会が開かれました

職員研修のひとつとして、毎年行っている消防署職員による救急(AED)講習会が、10月16日に行われました。当日は小島消防署から6名の隊員の方に来ていただき、心臓マッサージやAEDの扱い方などを教えていただきました。いざという時に行動できるよう、職員も真剣に受講していました。



給食室より

11 イベントメニュー

- 13日(水) 誕生会
- 15日(金) リクエストメニュー
- 19日(火) 手作りおやつ
- 27日(水) リクエストメニュー



《骨粗しょう症予防にカルシウムとビタミンを!》

骨は新しくつくられることと、溶かして壊されることを繰り返しているのですが、そのバランスが崩れると骨がスカスカになってしまいます。予防にはカルシウムを摂ることが大切ですが、カルシウムの吸収を促すビタミンD(魚類、キノコなど)、骨へのカルシウムのとり込みを助けるビタミンK(納豆、ホウレンソウなど)なども必要です。



管理栄養士 厚地

医務室より

《マイコプラズマ肺炎》

マイコプラズマ肺炎が例年と比べ全国的に多く報告されています。幼児、学童、青年を中心に罹患者が多く、また晩秋から早春にかけて報告数が増える傾向があるため、これからの季節に注意が必要です。

《感染経路》

風邪と同じように発症した人の咳やくしゃみによる飛沫感染、その飛沫のついた手で口を触ったりする接触感染。感染力は風邪やインフルエンザほど強くはなく、学校などで広がる可能性は高くありませんが、接触機会の多い家庭内での感染率は高い。

《症状・特徴》

感染すると2〜3週間の潜伏期を経て、発熱、全身倦怠、頭痛などの症状がみられ、その後咳が出て3〜4週間続くこともあります。鼻水・鼻づまりの症状が少なく、痰のない乾いた咳をします。また、マイコプラズマの細菌が耳に入ると中耳炎、胃や腸に入るとおう吐、下痢を発症することがあります。

《予防策》

新型コロナウイルス感染症と同様、手洗い、うがい、マスクの着用が基本です。また感染者との濃厚な接触を避けることも有効な予防法の一つです。



《11月の行事予定》

- ☆ 3日(日) 文化の日
- ☆ 4日(月) 振替休日
- ☆ 5日(火) 口腔ケア
- ☆ 6日(水) インフルエンザ予防接種
- ☆ 7日(木) 訪問歯科
- ☆ 11日(月) 訪問リハビリ 職員研修会
- ☆ 12日(火) ミールラウンド お話し会
- ☆ 13日(水) 訪問看護 誕生会
- ☆ 14日(木) 訪問歯科
- ☆ 18日(月) 訪問リハビリ
- ☆ 19日(火) 口腔ケア
- ☆ 20日(水) コロナ予防接種
- ☆ 21日(木) 訪問歯科
- ☆ 23日(土) 勤労感謝の日
- ☆ 25日(月) 訪問リハビリ 職員会議
- ☆ 26日(火) ミールラウンド
- ☆ 27日(水) 秋のミステリーツアー
- ☆ 28日(木) 訪問歯科
- ☆ 30日(土) 育成会全体職員研修会

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

この編集後記を書いているのは10月20日過ぎなのですが、いまだに半袖を着ています。10月21日現在の熊本の10月の平均気温は24.5℃。ここ10年間の平均気温は19℃から18℃くらい。このままいけば10年後20年後はどうなっているのかと... 曼珠沙華...名前がカッコよくて好きになった花です。一般的に彼岸花といわれていますが、調べたら他にも別名があり、彼岸花には強い毒性があることから《死人花》《地獄花》《毒花》《薄れ花》などちょっと恐ろしいネーミングが多いようです。しかし曼珠沙華の名前の由来はヤンスクリット語で「赤い花」を意味し、また仏教の経典では、曼珠沙華は天界に咲く花として登場し、その花は、めでたいことが起こる前兆とされています。マイナーな意味だけではなくよかったです。(*-*)

～第90号～

令和6年10月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

